



実証実験では、呉市天応地区の住民を対象に、電動カート「グリーンスローモビリティ」に実際に乗車し、市民センターや天応駅バス停への移動の体験してもらう。また毎週木曜日に開催される「天応 de 出張販売」での買い物客の送迎や事前注文された商品を届ける貨客混載の試験的な取組を行い、利用者の方の反応、交通手段として実装する場合の

この実証実験の目的は、同大大学院先進理工系科学研究科の藤原章正教授、呉高專環境都市工学分野の神田佑亮教授を中心に、日常生活などにおける新たな移動手段の利用可能性を検証することである。

広島大・呉高専が実証実験 「グリーンスローモビリティ」

広島大学および呉工業高等専門学校は、10月6日から15日までの間、呉市天応地区において、「新時代の新しい「交通手段」として期待される「アーバンスクエーミングリーチ」」を活



開会挨拶をする植野学長

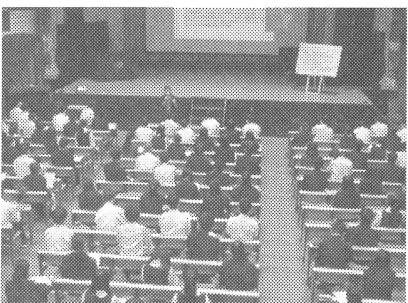


意見を述べる加藤取締役頭取

岡山大学と中国銀行は10月21日、同大にて連携協定「おかやま未来共創アライアンス」に基づきトップ会合を開催した。

同協定はお互いの情報やノウハウを共有し地域と連携しながらSDGsの達成に取り組むことで、地域の発展に貢献し、未来を共創していくことを目的に2021年2月に締結

トップ会合では、楨野博史学長、中国銀行
加藤貞則取締役頭取をはじめ双方の担当役員
が事業の進捗状況を確認し、活発に意見交換
を行った。また、細羽紀子地方創生SDGs
推進部部長から、11月に同大へ若手職員を出
向させることについて報告があり、これに対
し楨野学長から謝辞が述べられ、今後も人事
交流を行い、連携を深めていきたいとの発言
があつた。



広島大学附属高校におけるFS講義

も参加し、留学生のさまざまなかたちで多くの体験について聞くことができた。高校生には、世界の留学生とオンラインで英語によりつながる新しい国際教育の体験の場となり、熱心に聞き入る姿があった。

附属高校の講義に留学生参加

「10月18日、広島大学附属高等学校における「スープーサイエンス・ハイスクール」FS（フロンティアサイエンス）講義「大学国際化・異文化間理解（国際的に活躍する研究者を目指して）（英語・日本語）」（森戸国際高等教育学院、恒松教員担当）に同大留学生（海外在住、東広島）がオンラインで参加した。大学の国際化や異文化間理解における課題、カルチャーショック・逆カルチャーショックについての同講義には、約200人の第一学年の高校生が参加した。

海外からはアメリカ、メキシコの交換留学・留学生OBが参加した。同大に留学中のインドネシア・マレーシア・中国の大学院生

岡山大学と中国銀行は10月21日、同大に
おかれやま未来共創アライアンス

る大変有意義な時間となつた。」